

## 感染症の場合の登園について

幼稚園・保育園・こども園では、お子さんが感染症にかかった場合は、本人の健康の回復及び他の園児への感染を予防するため、一定期間登園を控えていただいております。

医師の診断及び治療を受けられ、病気が治癒、又は他の園児への感染のおそれなくなりましたら、別紙の「登園許可証明書」、又は「登園届」のいずれかを園へ提出してください。お子さんとまわりの園児の健康を守るためにご理解とご協力をお願い致します。

※用紙は、園にありますのでお申し出ください。また、HPよりダウンロードもできます。

### ● 「登園許可証明書」が必要な感染症

表1

病名	症状	感染しやすい時期	登園のめやす
麻疹 (はしか)	発熱、結膜の充血や目やになど、熱が一時下がると頬の内側の粘膜に発しんが出現。再び熱が上がり発しんが全身へひろがる。	発症1日前から発しんの出現後の4日間	解熱後3日を経過してから
風しん (三日ばしか)	発熱と全身に淡紅色の発しん、首や耳の後ろなどのリンパ節の腫れ	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘 (水ぼうそう)	発しんは、全身にみられ、紅斑、水ぼう、痂皮(かさぶた)の順に変化。発しんはかゆみを伴う。	発しん出現1~2日前から痂皮形成するまで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性 耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱、片側または両側の耳下腺が腫れ痛みを伴う。乳児や年少児では感染しても症状が出ないことがある。	耳下腺の腫れる前3日から耳下腺の腫れが出た後4日間は感染力が強い	耳下腺の腫れが消えてから
結核	肺結核では、咳、たん、発熱などが2週間以上続く	たんの検査などにより、結核菌が陽性の間	感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱 (プール熱)	39℃前後の高熱、のどの痛み、結膜炎	発熱、眼の充血などの症状が出た数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性 角結膜炎	眼の充血、ひどい目やに	充血、目やになどの症状が出た数日間	感染力が強いため結膜炎の症状が消えてから
百日咳	風邪様の症状から次第に咳が強くなる。1~2週間で特有の咳(短い咳が連続的に出る)となり、夜間に悪化。発熱はあまりみられない。	抗菌薬を服用しない場合、咳が出た後3週間を経過するまで	特有の咳が消え、全身の状態が良くなってから。(抗菌薬を決められた期間服用すること。)
腸管出血性 大腸菌感染症 (O-157等)	激しい腹痛、頻回の水様便や血便など	便から菌が出ている間	症状が治まり、抗菌薬による治療が終了し、必要な検査で菌の陰性が認められてから
急性出血性結膜炎	急性結膜炎で結膜出血が特徴	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	急激な発症(発熱・頭痛・嘔吐・髄膜炎・激症・血圧低下・紫斑など)		医師により感染の恐れがないと認めるまで
アデノウイルス 感染症	発熱後か頭痛・咳・鼻水・咽頭痛などみられ、アデノウイルスの型により目や胃腸症状など	飛沫感染や接触かんせんにより感染するため、症状が出ている間	発熱などの主要症状が消失して2日経過して

● 「登園届」が必要な感染症(医師の診断を受け、保護者の方が「登園届」を記載)

表2

病名	症状	感染しやすい時期	登園のめやす
インフルエンザ	悪寒・発熱・食欲不振・頭痛・関節痛・吐き気・下痢など	症状がある間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで
新型コロナウイルス	発熱・咳・体のだるさ・のどの痛みなど	発症後5日間	発症後5日を経過し、かつ症状が軽減した後1日を経過すること。 ※無症状の感染者の場合は、検査日を0日とし5日を経過すること
溶連菌感染症	突然の高熱、のどが赤く腫れ、痛みを伴い、舌がイチゴのように赤くプツプツになる(イチゴ舌)。かゆみを伴う発しんなど。	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	乾いた咳が徐々にたんが絡む咳となる。解熱後も3~4週間咳が続くことがある。	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	水ほう性の発しんが口の中、手のひら、足の裏などに出る。口内炎がひどく食事がとれないことがある。	手足や口の中に水ほう・潰瘍ができた数日間	発熱や口の中の水ほう・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	軽い風邪症状の後、頬が赤くなったり、手足に紅斑が出る。	発しん出現前の1週間	全身の状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ)	発熱、おう吐、下痢(便は、黄色より白色調であることが多い)	症状のある間と症状が消えた後1週間(量は減少するが、数週間はウイルスを排泄)	おう吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	39℃前後の高熱、のどの痛み。のどの痛みがひどく食事がとれないことがある。	急性期の数日間(便中に1ヶ月程度ウイルスを排泄)	発熱や口の中の水ほう・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発熱、鼻水、咳、ぜいめい、呼吸困難など	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消え全身の状態が良いこと
帯状疱疹	痛みとともに、神経の走行に沿って、紅斑や小水ほうができる	水ほうがある間	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化してから
突発性発しん	38℃以上の高熱が3~4日続いた後、体幹部を中心に発しんが出る	熱が出ている間は感染力があるが、感染力は弱い	解熱し機嫌が良く全身の状態が良いこと
ヒトメタニューモウイルス	軽い咳や38~39℃台の発熱、鼻水などの風邪に似た症状(呼吸器症状がやすい)	症状の出てる間、症状の激しい3~8日間※ウイルス排泄が3~4週間	発熱がなく、咳や鼻水の症状が安定した後、全身状態が良いこと

※その他の感染症について

下記に記載する感染症は、登園にあたっての書類の提出は原則必要ありませんが、早めに受診し必要な治療を受けましょう。なお、症状によっては「登園許可証明書」等の提出をお願いすることがあります。



その他の感染症

とびひ(伝染性膿痂疹)、アタマジラミ、ミズイボ(伝染性軟属腫)、ウイルス性肝炎

【表1 登園許可証】

【表2 登園届】